

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 29 年度第 4 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 29 年 11 月 16 日 (木)		
開催場所	小金井市中間処理場事務所棟 研修室 I		
出席者	委員	<出席者：11 名> 岡山会長・溝入副会長・石田委員・北澤委員・杉本委員・黒須委員・齋藤委員・多田委員・波多野委員・林委員・岸野委員 <欠席者：4 名>	
	事務局	小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・富田・高田・信岡・佐藤・玉井	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 会議録の確認について 2 報 告 燃やすごみ処理量の昨年度との月別比較について 清掃関連施設整備基本計画検討会議について 3 議 題 平成 3 0 年度一般廃棄物処理計画について (審議) 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>只今より平成29年度第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>今日は、山田委員、吉田委員、清水委員から欠席の連絡が入っている。</p> <p>それでは、本日の配布資料について、事務局から確認をお願いします。</p>
玉井減量推進係主任	(配布資料確認)
岡山会長	<p>それでは、前回の会議録について確認する。会議録は本日の審議会に先立ち送付されており、本日机上也にも配布されている。意見・修正等の申し出があれば、11月22日、水曜日までに事務局まで連絡をお願いしたい。その後、事務局にて公開手続きに入る。</p> <p>次に、本日事務局より提出された資料について、報告と説明を求める。</p>
玉井減量推進係主任	(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」説明)
小野ごみ対策課長	(「清掃関連施設整備基本計画検討会議第8回資料」説明)
玉井減量推進係主任	(「諮問案(修正案)可燃ごみ処理関連部分(抜粋)」説明) (「諮問案に対する審議会委員意見書」説明)
岡山会長	<p>報告事項については以上である。</p> <p>続いて、議題に入る。平成30年度一般廃棄物処理計画の諮問案について、前回に引き続き審議する。審議の前に、事務局から諮問案について、修正及び変更点の報告があるため、事務局の説明を求める。</p>
玉井減量推進係主任	<p>前回提出した諮問案について、一部修正及び変更を行う部分があるため報告する。</p> <p>一点目、本日、参考資料として配布している内容のとおり、可燃ごみ処理関連部分について修正をしている。可燃ごみ処理の関連文章については、市の重要課題であり、慎</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>重且つ丁寧に対応していく部分であるため、ご理解いただきたい。</p> <p>二点目、7ページ以降の平成29年度施策の展開2以降の施策表について、施策表の内容が更新されていなかったため、大変申し訳ないが、次回の修正案に反映していく。以上である。</p>
岡山会長	<p>それでは、事務局の説明を踏まえて、審議に入る。諮問案について、石田委員と林委員から事前にご意見を頂いている。本日、事務局から参考資料として提出されているが、補足説明があったらお願いしたい。</p>
石田委員	<p>事務局から参考資料として提出されている意見書だが、簡単な質問と諮問案に対する意見を出しており、概ね事務局が記載している回答の内容で納得した。</p> <p>諮問案の2ページ目の第1、1、(1)の7行目からの、目標を達成できる見込みであるとの記載が分かりにくいいため、提案した。分かりやすい表記に変更して欲しい。</p>
岡山会長	<p>確かに分かりにくい。8行目「見込みであり、平成29年度人口は」と繋げずに、「見込である。」と切ることによって分かりやすくなる。</p>
石田委員	<p>同じく、2ページの(3)今後の課題の表記について、文節の繋がりが不自然である。事務局からの案でも良いと思うが、分かりやすい表記にして欲しい。</p>
林委員	<p>同意見である。同じく、指摘をしている。</p>
富田減量推進係長	<p>目標を達成できない年度が続いたため、表現を変えてこなかった。適切に修正したい。</p>
石田委員	<p>12ページの「目標設定の考え方」の下段に減量目標における重点項目という箇所があるが、その燃やすごみの項目の文章に追加して、市の重視する取組みを記載してはどうか。「燃やすごみの中には、紙類が多く含まれているケ</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	一スがありますので、古紙として資源化を図るようにも取組みます。」といった文章を追加する案を出している。さらなる削減の提案も検討してよいのではないかと。
小野ごみ対策課長	取組みとしては、資源化の話の前に、燃やすごみにチラシなどを入れない、紙類の分別の徹底の啓発が必要ではないかと。
林委員	目標設定の考え方の部分は総論を述べているため、具体的な取組には触れていない。
石田委員	そうすると、14ページ以降の施策の展開の文章をどう書くかということが重要になる。
波多野委員	次に、28ページの「第7 その他一般廃棄物の処理に関し必要な事項について」に、災害発生時の暫定的な対応を示しておいた方がよいのではないかと。平成30年度に計画を策定することとマニュアルの研究を書いているが、重複してもいいので、策定されるまでの間の予定を示しておけないかと。
小野ごみ対策課長	アバウトな計画は既にあるのではないかと。
溝入副会長	どのように記載するか、表現を事務局で検討する。
小野ごみ対策課長	3ページの平成29年度ごみ・資源物処理量の表の数値と2ページの減量目標4gを達成できる見込みであるとの説明の数値が繋がらない。分かるように記載して欲しい。
富田減量推進係長	3ページの表には事業系も含まれている。
小野ごみ対策課長	処理量ベースと収集量ベースでは残渣量の調整などにより数値が一致しないことがある。後ほど計算させて欲しい。
小野ごみ対策課長	事務局で分かりやすい表記を検討する。

(審議過程) 主な発言等

林委員	14ページの「(1)発生抑制を最優先とした3Rの推進」の説明の中で、「中でも～を優先実施と位置づけています。」とあるが、毎年同じ項目のため、市としてこの年度に取り上げたい重点項目を記載できないか。市民に特に力を注いで欲しいこと、今年はこれをやるのかと分かるような表記をして欲しい。
岡山会長	この部分では、未活用資源の有効利用方策の調査・研究が含まれているため、専門委員会を来年度も継続していくかどうかにもよる。いずれにしても見直しが必要である。
小野ごみ対策課長	専門委員会については、皆様方、現任期の委員の方が提出される報告書の中に、専門委員会を今後どうしていくか、方針等を盛り込む方法がある。さらに、来年度の改選により新たに委員になられた方が、専門委員会を設置するのかどうか判断をすることになる。
富田減量推進係長	来年度は、皆様もご存知のとおり、災害廃棄物処理計画についてもご審議いただくことになる。議題も盛りだくさんであり、開催回数も増えるため、専門委員会は今回の報告書をもって本審議会に吸い上げ、審議会の中で検討するというだけでもよいと思う。
杉本委員	専門委員会の中で、HDMについての調査・研究が不十分であったと感じる。議論が尽せなかった。
岡山会長	検討の時間は作り、現地視察も行った。現在の条件下では実施が困難であるという結論は出たかと思う。
林委員	前年度の計画でも提案したが、施策表の広報媒体活用の充実は、具体的な取組の一番上に持ってきて欲しい。
山田委員	14ページ「具体的な取組」の大型生ごみ処理機購入費補助金交付要綱は見直しを行うのか。
小野ごみ対策課長	既に一度、見直しを行い、上限額を引き上げた。なお申

(審議過程) 主な発言等

北澤委員	<p>請が無いので、ごみゼロ化推進員と意見交換を行い、要綱の見直しを検討している。</p> <p>14ページに新たに諮問案で追加された文章で「ごみゼロ化推進員と連携し、転入者への啓発について、具体的な取組みを検討します。」とあるが、もっと具体的な内容を書けないか。</p>
林委員	<p>その部分については、現在、ごみゼロ化推進員と市で協議を行っている。</p>
岡山会長	<p>時間になったので、ここまでとする。その他、報告事項はあるか。</p> <p>特に報告は無いようなので、次回の日程について事務局から願います。</p>
玉井減量推進係主任	<p>次回、審議会は12月8日、金曜日、午後3時から午後5時までで開催したい。場所は追って連絡する。</p>
岡山会長	<p>残りの審議会の回数は12月と1月の2回である。2月は結審となるため、ご協力願います。</p> <p>それでは、これで閉会とする。</p>